



〈上〉ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン
《卓上ランプ》W・A・S・ベンソン社
Photo ©Brain Trust Inc.

〈右〉ウィリアム・モリス
《いちご泥棒》1883年モリス商会
Photo ©Brain Trust Inc.

● 令和6年度 春季特別展 ●

アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

産業革命後のイギリスでは、機械での大量生産、大量消費に移行し、職人の手仕事が行われ、労働に対する使命感や誇りが失われつつありました。ウィリアム・モリスは、中世的なイギリスの手工業の復興を目指し、有用性と美を兼ね備えた作品を次々と生み出しました。その思想から展開した潮流を「アーツ・アンド・クラフツ運動」と言います。この潮流はやがて世界へと及び、独自の歴史・文化、社会情勢を反映させながら発展していきました。

本展ではモリスをはじめ、「近代建築の三大巨匠」の1人であるアメリカの建築家フランク・ロイド・ライトまで幅広い展開をみせた「アーツ・アンド・クラフツ運動」の動きを約170点の作品を通じて紹介します。

【日時】 4月27日(土)～6月30日(日)
9時30分～17時(入場は16時30分まで) ※休館日を除く

【場所】 市美術館 展示室1・2

【観覧料】 一般千円(800円)、65歳以上800円(600円)、大学生以下無料。

※()内は、20人以上の団体料金
※各種障害者手帳などをお持ちの
人(介助者一人を含む)は無料

【問】 市美術館 ☎65・3580

EVENT

▼学会員による展示ガイド

【日時】 5月4日(土)、6月16

日(日) 14時～14時半

【定員】 20人※要観覧券

特集展示

ひるがしゅつてい
日暮別邸にみるアーツ・
アンド・クラフツ

「住友の建築家」として活躍した野口孫市により、1906年に四阪島に完工した住友別子鉱業所接待館、通称「日暮別邸」。野口が内部意匠設計の手掛かりにしたのは、同時代のアーツ・アンド・クラフツの新しい潮流「グラスゴー派」でした。ここでは、野口が影響を受けたデザインに着目し、日暮別邸記念館との連携展示を行います。

詳細はこちら



市HP